

第1回青田廻り資料

平成30年6月
なのはな農業協同組合
富山農林振興センター

～「H30JAなのはな米品質向上運動」実施中～
産地として選ばれる“なのはな米”1等比率95%以上を達成しよう！！

コシヒカリの生育は、平年に比べ茎数がやや少なくなっているものの、今後、分けつが急激に増える時期となります。遅れずに溝掘り・中干しを行い、茎や根を充実させ、高温に打ち勝つ稲体づくりに努めましょう。

水稻の生育状況

《平年比較》 草丈：やや短い 茎数：やや少ない 葉齢：並み 葉色：並み

コシヒカリの生育調査結果

なのはな農協管内生育基礎ほ（8カ所）6月4日調査平均

	田植日	草丈	株当り茎数	m ² 当り茎数	葉齢	葉色
H30	5月12日	27.3 cm	9.6本/株	182本/m ²	6.6	4.1
H29	5月13日	28.7 cm	10.9本/株	199本/m ²	6.8	4.1
平年	5月10日	28.4 cm	10.3本/株	194本/m ²	6.6	4.2

※平年 平成20～29年の平均値

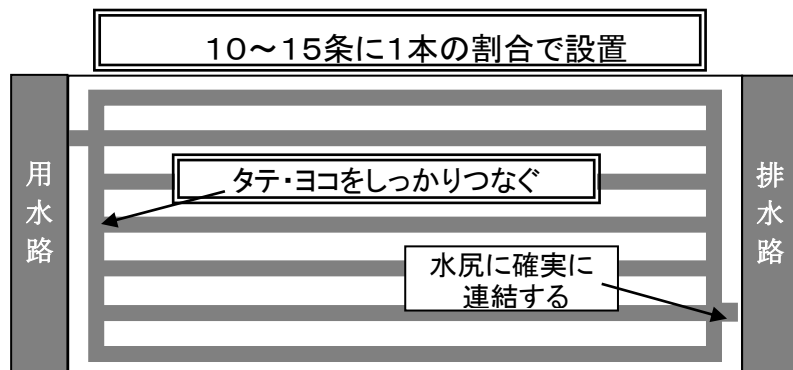
1 溝掘り・中干し

(1) 溝掘り

溝掘りは中干しと水管理のかなめです。

まだ溝掘りをしていない場合は、今すぐ実施しましょう。

溝掘りは、入水・排水を速やかにするために必要です！



<溝掘りのポイント>

- ・形が崩れないよう軽く田干しを行い、泥を固めた後に溝を掘る。（乾きにくい所は、間隔を狭くする）
- ・溝と水尻は、確実に連結する。
- ・溝掘り後、中干しでしっかり固めて入排水を容易にする。

(2) 中干し開始時期の目安

今後、発生する弱勢な分けつが残ると米品質低下につながります。稲体の健全化や秋のコンバイン作業の地耐力確保に向けて、生育に合わせて**中干しを遅れずに開始**しましょう。

①移植 田植後1ヶ月頃（目標茎数の8割程度、7.5～8葉期）に開始

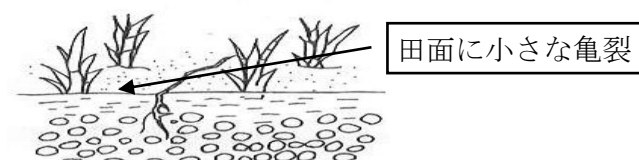
②直播 1m間茎数が100本程度になったら開始

※開始時期が遅れると、梅雨の影響で十分に干せなくなる恐れがあります。

(3) 中干しの程度

干し過ぎると逆に稲にダメージを与えますので、数回に分けて適度に田干ししましょう。

・普通乾田 → 長靴が沈まない程度の中干し
期間は3～5日間が目安



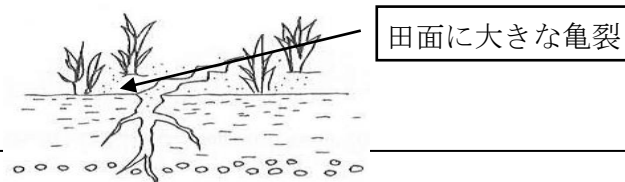
写真では・・・



・水はけの悪いほ場や粘土質、大豆跡田

→ 強めの中干し

期間は5～7日間が目安



弱いヒビが入っている

溝がしっかり残っている

2 中干し後の水管理

(1) 中干し後から幼穂形成期までの水管理

中干し後は、**間断かん水**で根に水分と空気を十分補給し、うわ根の生長を促進しましょう。

あわせて湛水管理後の収穫期に十分な地耐力を確保しましょう。

<間断かん水の目安>

- ◆ 乾きやすい水田 1日程度湛水、その後2～3日程度落水
- ◆ 乾きにくい水田 1日程度湛水、その後3～4日程度落水

※**ため水**は**厳禁**！うわ根が発達しません。



(2) 幼穂形成期から出穂期までの水管理

幼穂形成期から出穂期までは間断かん水の落水期間を短くした**飽水管理**で、水分補給しながら土の硬さを維持しましょう。

水管理のイメージ (コシヒカリ)



3 ケイ酸質資材等の施用

特に肥効調節型基肥は、リン酸やカリの成分が少な目になっています。これらの成分や登熟向上に必要なケイ酸を補うため、**エスアイ加里特号**または**BBPKケイ酸**等を必ず**施用**しましょう。

施肥体系 (使用基肥肥料)		肥料名	10a 当たり施用量	施用時期
分施	(なのはな有機基肥)	エスアイ加里特号	10～20kg	6月中旬～下旬
	(燐加安15号、基肥555)	太陽のめぐみ	20～40kg	
肥効調節型基肥	(なのはな一発基肥など)	エスアイ加里特号	20kg	
		BBPKケイ酸	20～40kg	

4 雑草防除 (除草剤散布)

- ・ 雑草が残った場合、下表を参考に除草剤を遅れずに散布しましょう。
- ・ 散布前に軽い田干しや水の入替えを行ってから散布しましょう。

雑草の状況	除草剤名	散布量 10aあたり	散布時期 (移植)	使用回数	使用上の注意
ノビエが残った場合	クリンチャー 1キロ粒剤	1.5kg	田植後25日～ ノビエ5葉期まで (収穫30日前まで)	2回 以内	・ 散布の際は5cm程度の深水とする。 ・ 散布後5日間は湛水状態を保ち、7日間は落水やかけ流しをしない
広葉雑草が残った場合	バサグラン粒剤	3～4kg	田植後15～50日 (収穫60日前まで)	1回	・ 落水して雑草を露出させ、晴天日を選んで散布する ・ 散布後3～4日間は田に水を入れず、また降雨によって薬剤が流出しないよう水尻は必ず止めておく
ノビエと広葉雑草が残った場合	ワイドアタックD 1キロ粒剤	1kg	田植後20日～ ノビエ5葉期まで (稲4葉期以降) (収穫60日前まで)	1回	・ 散布後5日間は湛水状態を保ち、田面を露出させない ・ 完全に枯死するまでに3週間以上を要することがある
	クリンチャー バスME液剤	1,000ml 希釈水量 70～100L	田植後15日～ ノビエ5葉期まで (収穫50日前まで)	2回 以内	・ 落水状態で雑草の茎葉に確実に付着するよう丁寧に散布する。 ・ 散布後3～4日は入水や落水をしない

○斑点米の発生防止のため、カメムシ類の発生源となる**畦畔や水田周辺の雑草地の草刈り**を徹底しましょう。

草刈り運動実施期間 7月1～10日 (一斉草刈り日 7月7～8日)